

第12回しきなみ子供短歌コンクール入賞作品

しきなみ子供短歌賞・文部科学大臣賞（3名）

ページ 1

特選（20名）

入選（354名）

ページ 2

佳作（536名）

ページ 12

しきなみ子供短歌賞・文部科学大臣賞

七年も土にもぐってねむってた今年のせみはどうきゆうせいだ
ぼくたちの思い出つまった旧校舎大雨にぬれ泣いてるようだ
どちらさまぼくにたずねるおばあちゃんこんどはぼくがささえてあげる

（東京都・2年）

（沖縄県・4年）

（埼玉県・5年）

特選

きづいたらかまきりうでについていたはしったさけんだあおどろいた
びっくりだもんぼのはねはにじいろでからだはきいろめがねはくろい
はじめてのおとまりかいでなみだでたいつもうるさいママにあいたい
けしごむでなんできえるかわからないなみだもけせるけしごむがいい
なつ休みなかよくあそぼつ元氣よくなかまはずれはかわいそうだよ
きれいだねきらきらひかるうまのめとかぜになびいたうまのたてがみ
ねえ母さんわたしはいつもかめなのようさぎじやないからゆっくり見てね
やろうかな思っていたときお母さん「やりなさいよ」で風船しぼむ
去年までじいで行ってたむかえ火に今年はじいをむかえに行くね
まっくらでもこわいよ目のしゅじゅつ見えない人の気持ちに気づけた
ミンミンとせみのうたごえきこえてるぼくのせなかなつがとまった
サッカーの合宿でつぶれたまめ二つなみだは家にもちかえったよ
おうえんが息つきするたび聞こえてるひっしに泳いだ夏の検定
おじいちゃんぼくをよぶ時しかる時いつもその目はわらってみえる
かたもみ券もつたないと言う祖父の大事に眠るお財布の中
「大丈夫」そう言いながら背中おすやさしい母のおまじないです
雨がふりかさをさしてほくたちはいろんな色の花をさかせる
お友達ときには嫌いときに好きわがままだからお互い様ね
悪口を言われていても好きでいるなぜかわからん不思議な気持ち
ゆらゆらとのんびりゆるゆるブランコはいつもだれかをなぐさめている

（千葉県・1年）

（東京都・1年）

（滋賀県・1年）

（滋賀県・1年）

（東京都・2年）

（兵庫県・2年）

（香川県・2年）

（埼玉県・3年）

（埼玉県・3年）

（千葉県・3年）

（福岡県・3年）

（埼玉県・4年）

（東京都・4年）

（愛知県・4年）

（埼玉県・5年）

（沖縄県・5年）

（群馬県・6年）

（東京都・6年）

（愛知県・6年）

（大阪府・6年）